

《当日の様子》

8月27日(土)～28日(日)、長野県長野市善光寺界限において毎月開催している空き家見学会を通して、5年間で80件にもものぼる空き家のリノベーションを行い、まちに賑わいをつくり出している倉石智典さんのご協力のもと「ぬまづのまちあるき 空き家見学会」を開催しました。

まちあるき当日は悪天候も予想されましたが何とか持ちこたえ、倉石さんと10人を超えるの参加者の方々、ガイド役の市の職員で、まちの歴史に触れながら、沼津に点在する空き家の見学を行いました。いつもは前を通り過ぎるだけで、誰にも気づかれず、ひっそりと佇んでいるまち中の空き家。多くの方々がその魅力に気づくことなく過ごしていることと思います。



しかし、見学会に参加した方々は会が進むにつれ、空き家の面白い使い方や新しい発想を次々と生み出されていました。古い蔵に入ってみたらミニシアターをやりたい気持ちが突然湧き上がったり、古い雑穀屋の佇まいを見て、ここでDIYワークショップの開催を企画したい等々。

2日間を通して行われた今回のまちあるきですが、参加者の方々のイメージーションが尽きることはありませんでした。参加者同士でアイデアをシェアすることにより、更に新しい企画が広がり、同じ思いを共有する仲間が次々と増えていきました。



リノベーションの種はどこに転がっているかわかりません。全く関係ないと思われるところにも様々な種があるはずです。まずはまちに出て、自分の目で、感覚で、自由な発想をすることがリノベーションの第一歩なのかもしれません。

今回「ぬまづのまちあるき 空き家見学会」を開催することにより、参加者の皆さんが改めてリノベーションの面白さを再発見し、まちあるきを継続的に行っていくことの大切さを実感することのできた、大変有意義な取り組みになったと思います。